

集落排水に新システム

遠隔地から集中管理実現

八雲の小松
電機が開発

高速シートシャッターを
ヒットさせるなどベンチャ
ー企業として知られる小松
電機産業(鳥根八雲村、
小松昭夫社長)が、集落排
水の計測、制御、遠隔監視
システムを開発した。広い
範囲に点在する上下水道施
設の機器を電話回線でオン
ライン化、役場内など遠隔
地からの集中管理を実現。
バックアップ体制として同
社が独自に用意した水処理
相談センターのコンピュー
ターとも結んでおり、水処
理技術者不足解消をセール
スポイントに国内外で販売
展開を図っていく。

新システムは「やくも水
神」と名付けられ、四千
五千人規模の町村の上下水
施設を対象に昭和六十二年
から開発。各施設の流量や
水位、濁度、残留塩素など
取水や放流水のチェック機
器の製造と併せ、試験段階
では専用回線で結び、監視

していたコンピューター通
信を一般の電話回線利用に
切り替えてシステムを完成
させた。

専用回線でなく一般の電
話回線が利用できるように
なったことで、監視地点を
簡単に増やせるなどメリッ
トが増した。施設の運転状
態は役場や管理業者のコン
ピューター画面に映し出さ
れ、各機器の計測値をドラ
フ化して監視、日報をプリ
ントアウトできるほか、過
去一年のデータを蓄積し、
トレンドデータに加工して
引き出せる。計測値で異常
があれば、ポケットベルで
現場担当者に急を知らせ
る。

上下水施設の設置や更新
に迫られている町村は、広
範な設置となる施設の性格
や技術者不足の問題を抱
え、建設自体よりその後の
維持管理に苦勞しているの
が実情で、遠隔地で集中監

視できる新システムの需要
は高いという。また納入先
の水質調査や分析のアドバ
ンスセンター（鳥根八雲村）を設け、
各地の監視画面と電話回線
で直結させ、後方支援を図
っていく。こうしたシステ
ム全体をひっくるめて特許
出願した。

「やくも水神」は十五カ
所の上下水処理施設と五十
カ所の中継ポンプの監視能
力がある。システム設置費
は各計測機器などハード面
を含め、監視役のホストコ
ンピューターと処理施設に
置く周辺機器をそれぞれ一
カ所設けた場合、二千四

千円かかる。処理施設、
中継ポンプを一カ所増やす
ことにそれぞれ一千万円、
二百万円追加される。
五年がかりの研究で発売
にこぎつけた小松社長は
「新システムは当社の基幹
である水関連技術を集大成
させたもの。シートシャッ
ターの第二弾として国内外
で販売展開していく」との
考えで、将来的には同社の
売り上げ構成で三分の一を
占める主力部門に育てる。